

みんなの力で 住みよい校区に!

コミュニティニュース
平成 21 年 11 月 1 日
発行：(仮称) 長七小校区
地域コミュニティ
協議会連絡会事務局

長岡京・校区をこんなまちに!

本市では、人と環境にやさしい「まち」、住みつけたい長岡京の実現を目指し、自然と環境と人が共生できる“まちづくり”に取り組んでいます。

特に、「環境」「健康」「安全」を基本に、地域力・文化力をキーワードとして施策を推進しています。

その実現のためには、地域力・地域コミュニティの活性化が重要であり、地域の「環境」「健康」「安全」に関わる課題解決のために、皆さんの力が必要となっています。

校区の様子は?

地域では、価値観が多様化する中で、地域への関心が薄れ、隣近所との人間関係が希薄となり、校区市民の皆さんが交流する機会も少なくなっています。

また、自治会、青推協、子供会、みんなのスポーツクラブ、PTA、老人会等、地域を基盤にした約 20 団体や組織が中心となり、さまざまな地域活動が行われています。

一方、地域を基盤としないで、校区内外でのボランティア活動やNPO法人の活動は活発化してきています。



地域コミュニティ活性化を願って、手作りの看板を長七小正門東側に設置

今、求められていること!

これからのまちづくりには、希薄になっている「人と人とのつながり」を再び強い絆で結び、近い将来、間違いなくやってくる少子高齢・人口減少に対応し、未来を担う子どもたちや高齢者の方々が、安心安全に生活できる地域社会が求められています。

特に、少子高齢化の進行に伴って、高齢者や単身世帯の増加、日常や災害時の要配慮者への対応が大きな課題となっており、阪神淡路大震災のような災害が起きた時はもちろん、日頃から地域に住んでおられる皆さんが知恵を出し合い、助け合っていかなければなりません。

これらの課題や問題について、地域のことを一番理解されている校区の皆さんの総意と力で取り組むことが大切な時代になってきています。「地域のことは地域の力で解決していく」という仕組みを早急に整える必要がありますが、今、進めている『(仮称) 長七小校区地域コミュニティ協議会』は校区での取組みの中心的な役割を担い、その責任を果たしていくものと期待されています。